

宇宙安全保障構想の概要

宇宙安全保障上の目標

我が国が、宇宙空間を通じて国の平和と繁栄、国民の安全と安心を増進しつつ、
同盟国・同志国等とともに、宇宙空間の安定的利用と宇宙空間への自由なアクセスを維持すること。

第1のアプローチ
安全保障のための
宇宙システム利用の抜本的拡大

(宇宙からの安全保障)

- ①広域・高頻度・高精度な**情報収集態勢**の確立
- ②耐傍受性・耐妨害性の高い**情報通信態勢**の確立
- ③**ミサイル脅威**への対応
- ④**衛星測位機能**の強化
- ⑤大規模・柔軟な**宇宙輸送態勢**の確立

第2のアプローチ
宇宙空間の
安全かつ安定的な利用の確保

(宇宙における安全保障)

- ①**宇宙領域把握**等の充実・強化
- ②**衛星の長期的・経済的運用**のためのライフサイクル管理
- ③**不測事態**における**対応体制**の強化
- ④**国際的な規範・ルール作り**への主体的貢献

第3のアプローチ
安全保障と宇宙産業の発展の
好循環の実現

(宇宙産業の支援・育成)

- ①新たに策定する**宇宙技術戦略**の実行
・**先端・基盤技術**開発力の強化
・自律性を確保すべき**重要技術の国産化**
- ②**政府・関係機関**の役割・連携の強化
・**JAXAの役割の強化**
・**政府の先端技術の研究開発成果**の安全保障用途への活用
- ③**民間イノベーション**の活用
・**民間技術の活用**
・**民間主導の技術開発の支援**



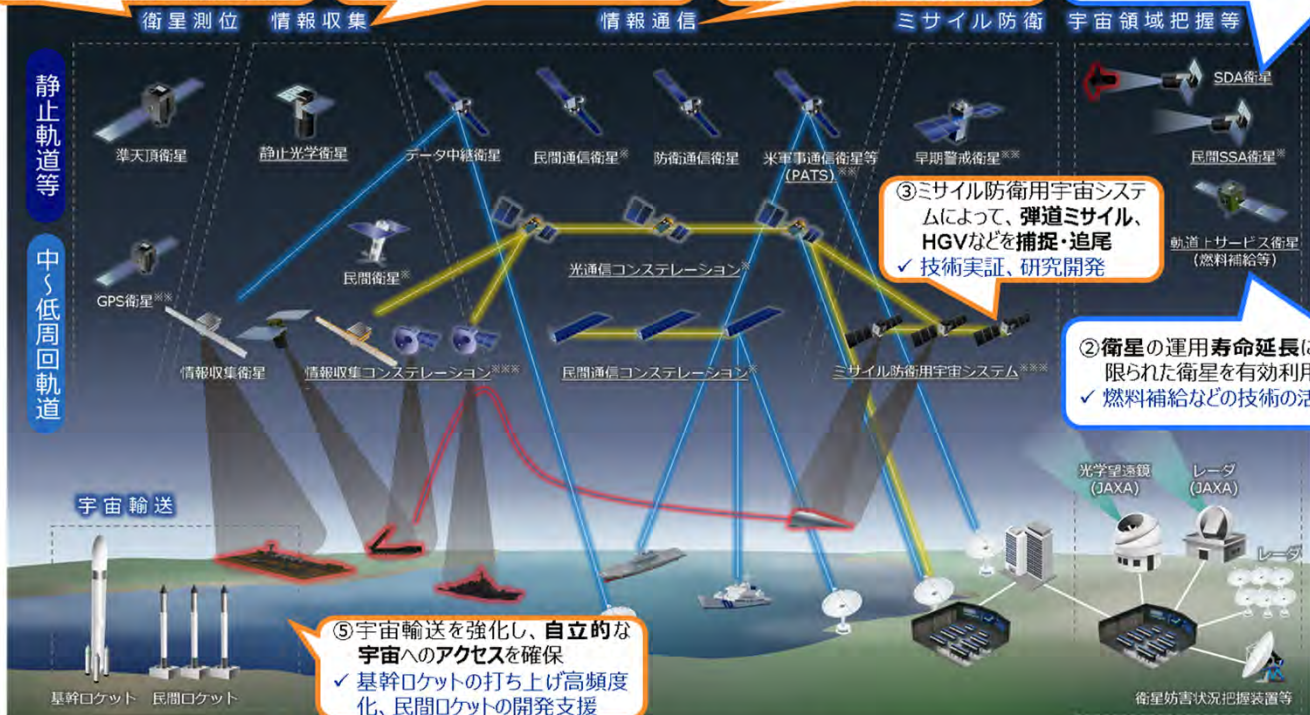
安全保障のための宇宙アーキテクチャを構築

④**ジャミングなどに負けない抗たん性**の高い**位置・時刻情報**の把握機能を確保
✓ 米国のGPS衛星利用や、準天頂衛星の機能性・信頼性向上

①広域・高頻度・高精度な**情報収集**体制で**隙のない情報収集**を実現
✓ **情報収集衛星の拡充**、**情報収集コンステレーション**などの構築、**民間衛星**の活用

②増加する**通信需要**や**妨害行為**に対応可能な**衛星通信網**を構築
✓ **防衛通信衛星**の整備、**光通信コンステレーション**の活用

①**他国の衛星の活動**や**デブリ**の位置などの**情報を把握**
✓ **SDA衛星**の保有、**民間SSAサービス**の利用



③**ミサイル防衛用宇宙システム**によって、**弾道ミサイル、HGV**などを**捕捉・追尾**
✓ **技術実証、研究開発**

②**衛星の運用寿命延長**により**限られた衛星を有効利用**
✓ **燃料補給**などの**技術の活用**

⑤**宇宙輸送を強化**し、**自立的な宇宙へのアクセス**を確保
✓ **基幹ロケットの打ち上げ高頻度化**、**民間ロケットの開発支援**

【凡例】※ 民間が保有する衛星 ※※ 同盟国等が保有する衛星 ※※※ 現時点で保有形態又は保有が決まっていない衛星
・ 記載している衛星・ロケットの数、上下位置、通信を示す線は一例であり、それぞれ実際の衛星数、軌道高度、ネットワークを示すものではない。
・ 下線は、新たに導入や利用が検討されている衛星等を示す。